【仕様書－様式第３号】

労働者協同組合活用促進モデル事業　事業構想提案書

令和　　年　　月　　日

支出負担行為担当官

　　厚生労働省職業安定局雇用保険課長　殿

　労働者協同組合活用促進モデル事業について、以下のとおり提案します。

＜事業タイトル＞

|  |
| --- |
| 事業の趣旨・目的を端的に表現したタイトルをつけてください。 （例１　「労働者協同組合活用促進を通じた元気な中高年齢者のための雇用機会の創出」）  （例２　「労働者協同組合活用促進を通じた中山間地域における働く場の環境整備」） |

　協議会

　代表者　役職・氏名

　住所　〒

　連絡担当者　所属・役職・氏名

　TEL:

E-mail：

協議会の構成員一覧（○○協議会）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構成員 | 住所 | 担当者職氏名・連絡先 |
| （代表）  ○○県庁  ○○　○○課長  （副代表）  協同労働ネットワーク〇〇  ○○　○○会長  （構成委員）  〇〇農業協同組合  〇〇課長  労働者協同組合〇〇  代表理事〇〇  〇〇商工会議所  〇〇部長  〇〇社会福祉協議会  〇〇課長  （監事）  〇〇労働金庫  〇〇支店長  (各団体については団体名及び氏名、有識者等の個人については氏名及び肩書きを記載してください。） | 〒  ○○県○○市･･･ | ○○県○○部○○課  ○○　○○  TEL：  E-mail：  （団体については担当者の氏名・役職・TEL・E-mailを、個人についてはTEL・E-mailを記載してください。） |

＜事業構想＞

|  |
| --- |
| 事業タイトル  （例１　「労働者協同組合活用促進を通じた元気な中高年齢者のための雇用機会の創出」）  （例２　「労働者協同組合活用促進を通じた中山間地域における働く場の環境整備」） |

１　事業の趣旨・目的

|  |
| --- |
| 仕様書に記載したモデル事業の趣旨や成果目標などに鑑み、モデル事業で実施しようとする事業の趣旨・目的を簡潔に記載するととともに、３年度間にわたる実施スケジュールを示してください。 |

２　事業実施地域に関する事項

(１) 事業実施地域の現状

|  |
| --- |
| 事業を実施する地域内の実情や課題、ニーズ（高齢化率、人口減少率、地域課題の担い手の不足等）及び地域資源（地縁組織、企業、協同労働ネットワーク、協同組合ネットワーク等）について記載してください。 |

(２) 課題への対策

|  |
| --- |
| 上記２（1）に記載した課題に対し、地域資源を活用して実施する対策を記載してください。その際、対策の具体的な内容として、モデル事業で実施しようとする支援メニューを列挙してください。各支援メニューの内容等については、以下４３に記載してください。 |

３　事業の実施にあたっての協議会組織等の体制整備について

（１）協議会構成員に求める役割等について

|  |
| --- |
| モデル事業の実施にあたり各関係機関が参画する趣旨、各関係機関が実施する取組及び果たす役割について、具体的に記載してください。 |

（２）協議会構成員間での連携を通じた具体的な連携内容

|  |
| --- |
| （１）の役割を通じて具体的にどのような連携を行うのかを記載ください。  （例：商工会議所所属の企業と労働者協同組合が連携して副業・兼業の場を提供、  　金融機関と連携して労働者協同組合の事業計画書の作成支援を実施など） |

（３）都道府県内における協力・連携体制について

|  |
| --- |
| モデル事業の事業内容等を踏まえると、労働施策担当部局や福祉施策担当部局など複数の部局が連携して取り組むことが必要になると考えられますので、都道府県内の関係部局の協力・連絡体制及び各部局が果たす主な役割等について具体的に記載してください。 |

４　モデル事業にて実施しようとする事業の内容と目標

【令和６年度】

（質的目標）

|  |
| --- |
| 年度毎の質的目標を記載してください。 |

(１) ・・・・・（支援メニューの名称）

ア　事業内容（例：相談窓口の設置、講習会・ワークショップの開催）

イ　多様な働き方を実現する環境整備、多様な雇用機会実現のための取組、その他のメニューのどれに該当するか（複数選択可）

ウ　２（１）で掲げた課題やニーズの対応策となる理由

エ　支援対象者

オ　事業実施時期・期間

カ　支援対象者の募集方法

キ　アウトプット指標（年度毎・四半期毎）

ク　アウトカム指標（年度毎・四半期毎）

(２) ・・・・・（支援メニューの名称）

【令和７年度】

（質的目標）

|  |
| --- |
| 年度毎の質的目標を記載してください。 |

(１) ・・・・・（支援メニューの名称）

ア　事業内容（例：相談窓口の運営、多様な働き方実現のための講習会・ワークショップの開催）

イ　多様な働き方を実現する環境整備、多様な雇用機会実現のための取組、その他のメニューのどれに該当するか（複数選択可）

ウ　２（１）で掲げた課題やニーズの対応策となる理由

エ　支援対象者

オ　事業実施時期・期間

カ　支援対象者の募集方法

キ　アウトプット指標（年度毎・四半期毎）

ク　アウトカム指標（年度毎・四半期毎）

(２) ・・・・・（支援メニューの名称）

【令和８年度】

（質的目標）

|  |
| --- |
| 年度毎の質的目標を記載してください。 |

(１) ・・・・・（支援メニューの名称）

ア　事業内容（例：相談窓口の運営、労働者協同組合とのマッチング支援等）

イ　多様な働き方を実現する環境整備、多様な雇用機会実現のための取組、その他のメニューのどれに該当するか（複数選択可）

ウ　２（１）で掲げた課題やニーズの対応策となる理由

エ　支援対象者

オ　事業実施時期・期間

カ　支援対象者の募集方法

キ　アウトプット指標（年度毎・四半期毎）

ク　アウトカム指標（年度毎・四半期毎）

(２) ・・・・・（支援メニューの名称）

|  |
| --- |
| １　令和６年度から令和８年度に実施する事業の内容を年度毎に全て記載してください。  ２　支援メニューの内容、事業実施主体（再委託を予定している場合は、その旨を明記し、また現段階で再委託が想定される相手先があれば、その名称も記載してください。）、事業実施期間等を記載してください。  ※　実施しようとする事業の内容を具体的に記載してください。また、支援メニューの中の研修等については、各々、開催日数（及び１日当たりの時間数)、年間の開催回数、１回開催当たりの受講者数（定員）が分かるように記載してください。  ３　事務局やその他の支援メニューの実施主体間における連携について、記載してください。  ４　支援メニューに記載されていない内容が、以下「事業構想必要経費概算書（様式第４号）」に出てくることがないようにご注意ください。また、「事業構想必要経費概算書（様式第４号）」においては、支援メニュー毎の経費が明確に分かるよう記載してください。  ５　アウトプット指標について   1. 支援メニューに関する指標について、アウトプット指標（利用者数等）を設定してください。その設定根拠を支援メニュー毎に表の欄外に示すなど、可能な限り定量的に記載してください。   第２年目については令和７年１月から12月という評価基準期間中に達成された成果に応じ、最終年度の事業継続可否を判断します。当該評価基準期間におけるアウトプット実績が計上されず、支援メニューを実施していないと判断された場合は、事業の継続を不可とします。  ６　アウトカム指標について   1. モデル事業の利用者に対してアンケート調査を実施し、「役に立った」と評価を受ける割合などを年度毎・四半期毎に表形式で記載してください。   （例：ワークショップにおける利用者に対してアンケート調査を実施して「役に立った」と回答した割合）   1. 各支援メニューを利用した利用者のデータ把握方法を具体的に記載してください。 2. １年目は令和６年８月から12月の評価基準期間におけるモデル事業の事業利用者に対するアンケート調査において「役に立った」と評価を受けた割合に関するアウトカム実績が目標の５割以下、２年目については令和７年１月から12月という評価基準期間におけるアウトカム実績が目標の８割以下の場合に、翌年度の事業実施に当たっての改善計画の作成やその実行を指示します。 |

５　事業の実施にあたって、多様な雇用機会創出や多様な働き方が可能となる環境整備に向けて工夫した点

|  |
| --- |
| モデル事業の実施にあたって協議会として工夫している点を具体的に記載してください。  （協議会における意見反映の重視等） |

６　その他、事業の実施を通じて、地域づくりや地方創生、地域福祉の充実等へ与える効果

|  |
| --- |
| モデル事業の実施を通じて期待する効果について、具体的に記載してください。  （中山間地域における関係人口の増加等） |